

授 業 科 目 名	生 命 倫 理	担 当 教 員	村 上 隆 夫
対 象 学 生	3 学 年	学 期	前 期 集 中
単 位 (コ マ 数)	1 単 位 (7 . 5 コ マ)	選 択	講義室
回	講 義 題 目	教 科 内 容	国 家 試 験 出 題 基 準
1	生命倫理学の成立	生命倫理学の成立と素の背景	
2	古代哲学における生命と身体	古代エジプト・ギリシャ・キリスト教における生命観と身体観	
3	近代哲学における生命と身体	デカルトの哲学における生命観と身体観	
4	伝統的社会における死と葬送	前近代社会における死の儀礼	
5	近代社会における死と葬送	近代社会における死の儀礼	
6	疎外される身体と加工される身体	人間の身体の人間学的考察	
7	身体と人格	人格概念の形成と身体と人格の関係	
8	身体は誰のものか	脳死と臓器移植をめぐる倫理的問題	
9	人権と医療	インフォームド・コンセントをめぐる倫理的問題	
10	人間はいつから人間になるのか	妊娠中絶と新生児殺しをめぐる倫理的問題 安楽死と尊厳死をめぐる倫理的問題	
11	人間が人間でなくなるとき	生殖技術をめぐる倫理的問題	
12	子どもは誰のものか	医療関係者と患者との人間関係をめぐる倫理的問題	
13	医療関係者と患者		
14	生命倫理と正義	医療資源の配分をめぐる倫理的問題	
15	動物の生存権	生命倫理学と環境倫理学との関係について	
テキスト			
参考書			